

# 野の花新聞

No. 14 2011年7月号 「馬」

みなさま、こんにちは。

野の花の みなかた あきこ です。

梅雨が明けないまま、気温がぐんぐん上がっていきますね。節電のプレッシャーもありますし、夏本番前で すでにぐったりという方もあるかもしれません。

でも！こんな時こそ、小さくてもいいから 楽しいこと、うれしいことを見つけたいですね。

この夏 私は、さっそく楽しいことを見つけました。ずいぶん昔にちょっとかじったことのある乗馬を、思いきって始めてしまったんです。ここ数年、いつかは再開するぞ、と思いながら踏み切れずにいたのですが、広報こうべで乗馬チケット割引の記事を見たたん、「今だ！」と決心してしまった次第・・・初日までのわくわく感といったらありません。朝 笑いながら目を覚ますこともしばしば。自分でも どうかしてるなあとは思いますが、馬のつやつやした優しい目を思い出すと、笑いがこみあげてきちゃうんです。

いよいよ当日になると、今度は緊張のあまり、馬に乗ると 息を止めてしまう有様。インストラクターから、「息してますかー？」ときかれ、「あ、してません」

思えば、今は亡き父が、戦争中 軍馬の世話をしていた、すっかり馬のとりこになり、「馬 飼うぞ」と言い続けていましたっけ。母に「どこで飼うの、屋根の上？」と突っ込まれつつ。父から受け継いだものなのではないでしょうか、馬が好きでたまらないという思いは・・・

おとうさん

馬を飼うことはかなわなかったけれど、あなたの思いは 娘の中に ちゃんと息づいているのですね。



なな

ふくろうのめがね入れを枕に、前足は しっかり新聞の上。寝ている時も、じゃますることは忘れません・・・

